



報道機関 各位

健康福祉部健康増進課 担当者 宮下、西田 電話番号 0776-20-0348 庁内内線番号 2620, 2628 健康福祉部医薬食品・衛生課 担当者 橋本、糸井 電話番号 0776-20-0354 庁内内線番号 2644, 2645

2, 110か所の事業所、施設等にノロウイルス等による感染症・食中毒の予防対策の徹底を通知しました！

本県の感染症発生動向調査において、感染性胃腸炎の1定点医療機関あたりの患者数が増加傾向にあり、また、浜松市で発生した大規模な事例をはじめ、本県でも病院給食施設や飲食店を原因とする食中毒が発生するなど、全国的にノロウイルス等を原因とする食中毒の報告が相次いでいることから、本日、関係課および健康福祉センターによるノロウイルス対策連絡会議を開催しました。

ノロウイルス対策連絡会議で下記の対策について申し合わせ、社会福祉施設、学校および医療機関等に対し、施設における感染拡大要因の特徴等を踏まえた感染症・食中毒対策の徹底について、本日、通知しました。

なお、今後も5月頃まではノロウイルス等を原因とする感染症や食中毒が発生することが予想されますので、改めて県民の方に別添資料の予防対策等について広く周知していただきますよう、よろしくお願いいたします。

記

今後の対策等

- ・県内の各施設に対して、感染拡大要因の特徴^{*}等を踏まえた感染症・食中毒対策の徹底について通知
- ・各種広報媒体を活用した県民への感染症、食中毒予防対策の広報

<参考>

連絡会議出席課、健康福祉センター

地域福祉課、長寿福祉課、障害福祉課、子ども家庭課、地域医療課、医薬食品・衛生課、健康増進課、スポーツ保健課、大学・私学振興課、広報課、財産・事務管理課、県民安全課、健康福祉センター（福井、坂井、奥越、丹南、二州、若狭）

※各施設の対策の重点事項

施設	対策の重点事項
老人福祉施設、老人保健施設、有料老人ホーム、介護保険サービス事業者	給食、介護スタッフの健康管理の徹底 食事介助、入浴介助、口腔ケア時における手洗い等の徹底 等
児童福祉施設、認可外保育施設	保育士、調理員の健康管理の徹底 有症児の保護者への理解、協力 等
救護施設	有症の高齢者、病弱者への早期医療機関受診勧奨 等
障害者福祉サービス事業運営法人	スタッフの健康管理の徹底 体調不良の訴えが困難な利用者の健康管理 等
学校	給食スタッフ、教師等の健康管理の徹底 体調不良の児童、生徒等は給食の配膳作業は行わない。等
医療機関	給食、医療スタッフの健康管理の徹底 等
食品営業施設、食品供与施設	従事者の健康チェックの徹底 等

(別添資料)

ノロウイルスによる感染症・食中毒の予防法

1 最も重要な予防方法は手洗い

帰宅時、食事前、トイレの後には、必ず流水・石けんによる手洗いを行うようにしてください。調理をする方は、調理の前後も十分な手洗いをしてください。

2 調理の際の注意点

- ・カキなどの二枚貝を調理する際は、他の食品や調理器具が汚染されないよう注意しましょう。
- ・下痢などの症状がある人は、食品を扱わないでください。ノロウイルスによる胃腸炎の場合、症状がなくなっても1週間程度（長い場合は1か月に渡って）便中にウイルスが排出されるといわれていますので、症状がなくなっても注意してください。
- ・加熱はもっとも効果的な殺菌方法です。ノロウイルスは中心温度85℃、1分以上の加熱が必要です。特に、二枚貝などは、中心部まで十分加熱（85℃～90℃、90秒以上）しましょう。

3 おう吐物・下痢便の処理の注意点

- ・ノロウイルス感染症の場合、そのおう吐物や下痢便には、ノロウイルスが大量に含まれています。そしてわずかな量のウイルスが体の中に入っただけで、容易に感染してしまいます。
- ・おう吐物や下痢便の処理をする前に、まず処理にあたる人以外の方を遠ざけ、換気をしてください。
- ・マスク・手袋（しみこまない材質のビニールやゴム製の手袋）をしっかりと着用し、ペーパータオル等で吐物・下痢便をしっかりとふき取ってください。汚染された場所は、次亜塩素酸系消毒剤（濃度は0.1%以上、家庭用漂白剤の場合は約50倍程度に薄めて）で消毒してください。
- ・ふき取った後のペーパータオル等は、ビニール袋等に入れ（できれば次亜塩素酸系消毒剤をしみこませ）、しっかりと封をして廃棄してください。
- ・ドアノブなど直接手で触れる機会がある場所は次亜塩素酸系消毒剤（濃度は0.02%以上、家庭用漂白剤の場合は約200倍程度に薄めて）を使用して消毒してください。

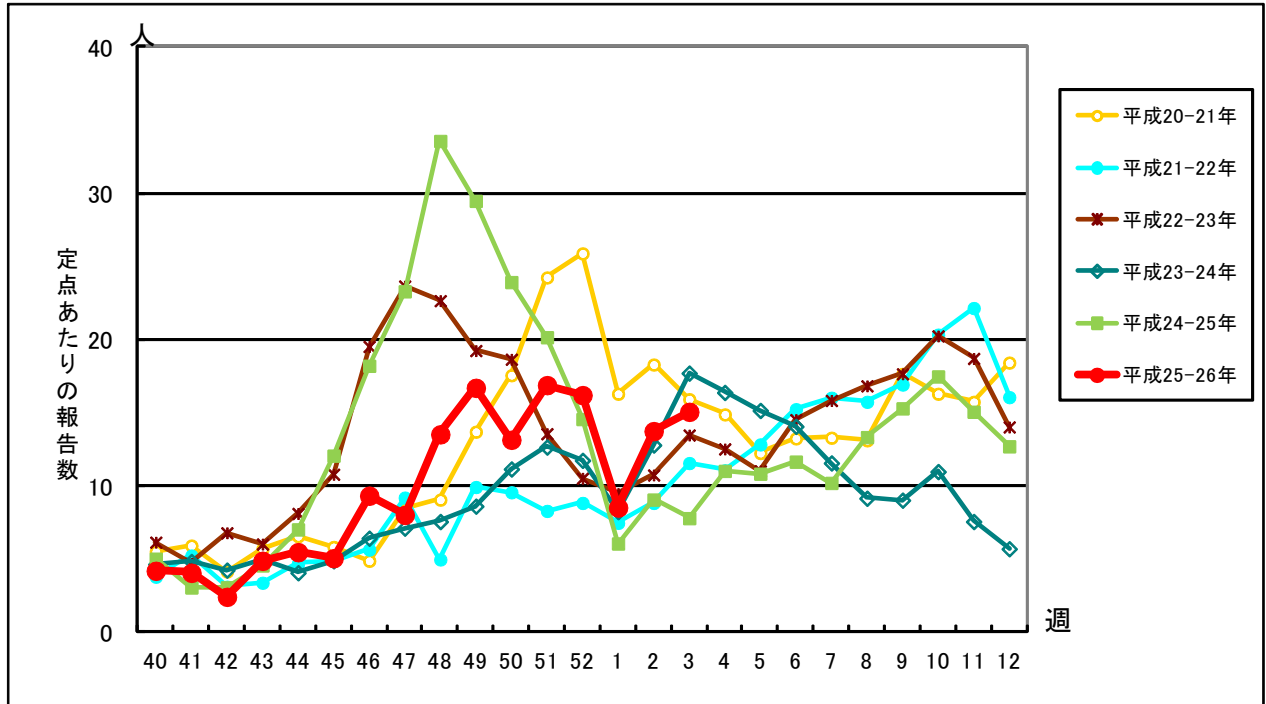
4 感染源とならないために

症状を持ったまま学校、保育所等に登校（登園）させることによって、その子どもが感染源となって周囲の子ども達に感染が広がっていき、それがまた各家庭に広がり、地域内で広がっていく事になることをご理解ください。

(参考)

- 福井県感染症情報ホームページ
<http://www.erc.pref.fukui.jp/kansen/>
- 厚生労働省ホームページ（ノロウイルスに関するQ&A）
<http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html>
- 国立感染症研究所感染症疫学センターホームページ（感染症週報第44週）
<http://www0.nih.go.jp/niid/idsc/idwr/latest.pdf>

福井県における感染性胃腸炎患者報告数（1定点あたり）の状況



年	月					11月					12月				
		週	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52
平成20-21年			5.55	5.95	4.18	5.73	6.59	5.86	4.91	8.45	9.09	13.73	17.59	24.27	25.91
平成21-22年			3.82	5.27	3.14	3.41	4.73	4.91	5.68	9.23	5.00	9.95	9.59	8.32	8.86
平成22-23年			6.18	4.73	6.82	6.05	8.14	10.82	19.55	23.68	22.68	19.27	18.68	13.59	10.55
平成23-24年			4.68	4.86	4.27	5.00	4.09	4.91	6.45	7.14	7.59	8.64	11.18	12.68	11.77
平成24-25年			5.05	3.09	3.09	4.59	7.05	12.09	18.23	23.32	33.59	29.50	23.95	20.18	14.59
平成25-26年			4.23	4.09	2.45	4.91	5.50	5.09	9.36	8.05	13.55	16.73	13.18	16.91	16.23

※平成21年第53週は5.64

年	月	1月				2月				3月				
		週	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
平成20-21年			16.32	18.32	15.95	14.91	12.27	13.27	13.32	13.14	17.68	16.32	15.77	18.45
平成21-22年			7.50	8.86	11.59	11.09	12.86	15.27	16.05	15.77	16.95	20.36	22.18	16.09
平成22-23年			9.50	10.77	13.50	12.55	11.05	14.55	15.86	16.86	17.68	20.27	18.73	14.05
平成23-24年			8.27	12.82	17.73	16.41	15.18	14.09	11.59	9.18	9.05	11.00	7.59	5.73
平成24-25年			6.09	9.09	7.82	11.05	10.86	11.68	10.23	13.36	15.32	17.50	15.09	12.73
平成25-26年			8.55	13.77	15.09									

※網掛けは各シーズンにおける最多報告数
 ・平成21-22シーズンは第17週23.32
 ・今シーズンは第3週現在

○福井県内のノロウイルス等食中毒発生状況（上段：事件数 / 下段：発生日。平成26年1月23日現在）

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2014 (H26)	1※ (1/13)											
2013 (H25)	1 (1/19)		2 (3/6,9)				2 (7/29,31)					1 (12/28)
2012 (H24)			1 (3/19)	1 (4/22)	1 (5/4)							1 (12/31)
2011 (H23)	3 (1/6,10,24)											1 (12/23)
2010 (H22)	1 (1/24)	2 (2/2,24)										1 (12/19)
2009 (H21)	1 (1/18)											
2008 (H20)		1 (2/20)										
2007 (H19)					1 (5/12)							
2006 (H18)		2 (2/6,19)		1 (4/16)	1 (5/28)						1 (11/19)	1 (12/23)
2005 (H17)	2 (1/17,24)		1 (3/8)							1 (10/7)		1 (12/18)
計	9	5	4	2	3		2			1	1	6

※病因物質：サポウイルス（かつてノロウイルスとともに「小型球形ウイルス」とされていたウイルス。
症状等の特徴はノロウイルスと同様）